

令和元年11月12日
高知河川国道事務所

令和元年10月台風第18号の影響を受けた大雨による 仁淀川支川「宇治川」の出水状況 ～新宇治川放水路が機能を発揮～

- 令和元年10月台風第19号、台風第21号で犠牲になられた方々に哀悼の意を表すとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。また、令和元年10月台風第18号の影響を受けた大雨において、宇治川はじめ仁淀川沿川での浸水被害に遭われた方々におかれましてもお見舞い申し上げます。
- 今般、高知河川国道事務所では、台風第18号の影響を受けた去る10月3日の大雨において、これまでの治水対策がどの程度機能したかを試算したところ、平成19年に完成した新宇治川放水路が効果を発揮し、この放水路がなければ300戸を超える浸水被害が発生していた結果となりました。
- 大雨による浸水対策は、ハードのみならずソフト対策も合わせて取り組むことが重要であります。このように、これまでの施設整備が着実に機能を発揮している事実も重要だと考えています。
- 現在、宇治川流域では、平成26年と同規模の大雨に対する床上浸水被害の解消に向けて、国、県、町が一体となって内水対策を進めているところですが、引き続き関係機関が連携して進めてまいります。

本施策は、四国圏広域地方計画【No.1「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所

電話 088-833-0111(代表)

副所長 おかばやし 岡林 ふくよし 福好

○調査課長 やまじ 山地 ひでゆき 秀幸

○主な問い合わせ先

令和元年10月台風第18号:新宇治川放水路が機能を発揮

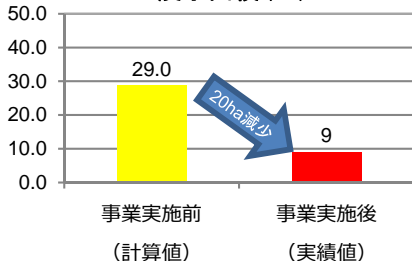
位置図



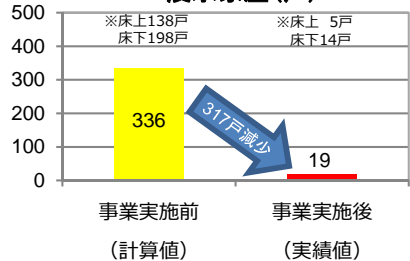
- 仁淀川水系宇治川（高知県の町）では、平成5年の浸水被害を踏まえて着手した仁淀川床上浸水対策特別緊急事業（宇治川）によって平成19年に新宇治川放水路が完成。
- 令和元年10月台風第18号の影響を受けた大雨では、新宇治川放水路が約17時間稼働し、宇治川の洪水を仁淀川に排水。その結果、新宇治川放水路により、**浸水面積約20ha、浸水戸数約300戸**を軽減したと推定。

新宇治川放水路の効果（令和元年10月台風第18号）

浸水面積 (ha)

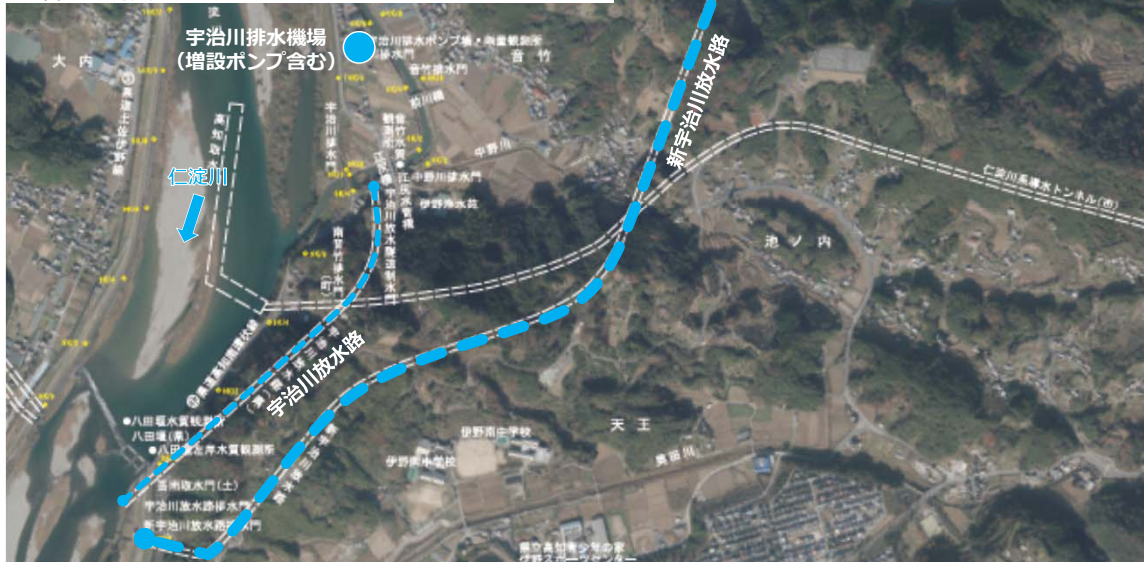
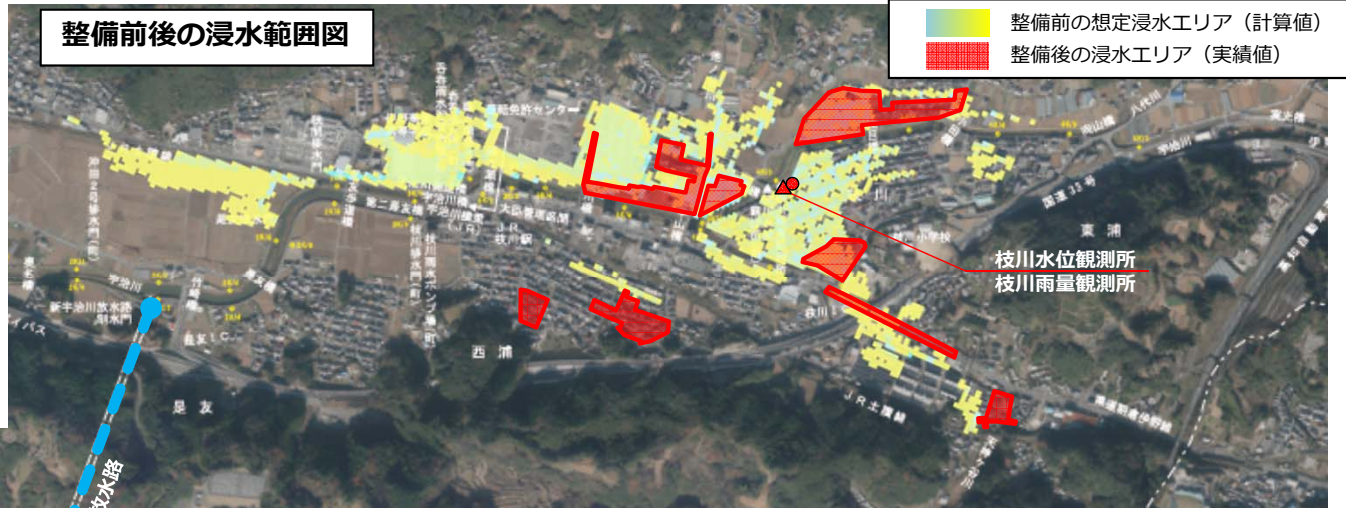


浸水家屋 (戸)



※新宇治川放水路完成前の浸水面積及び浸水家屋数はシミュレーションによる推定値
 ※新宇治川放水路完成後の浸水面積は国土交通省調査の速報値、浸水家屋数は市町村への聞き取り（令和元年11月6日時点、非住家を含む）
 ※数値は今後の調査により変更する可能性がある

整備前後の浸水範囲図



令和元年10月台風第18号における宇治川の出水状況

